

課題 1

弾性床清掃及び机上清掃

標準競技作業時間 10分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
資機材の準備	<p>作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている (必要な資機材・数量は資機材一覧を参照)</p> <p>1. モップの柄の長さを調整する 小鼻の位置が適切</p> <p>2. ダストクロスをダストヘッドに装着する</p>	<p>資機材が過不足無く準備されているかを目視にて点検し、異常があれば速やかに申し出る</p>	<p>資機材の点検終了後審査員の指示に従い作業準備に入る</p>	0
競技開始挨拶	<p>のスタートラインに立ち、審査員の“始め”の掛け声で《“始めます”と片手を上げ作業開始》を申告</p>			
作業準備	<p>作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動 作業表示板を立てる</p>	<p>作業しやすい場所へ移動 作業の邪魔にならず 通行人からよく見える安全な場所に設置</p>	<p>作業開始後は資機材は取りにもどれない</p>	0.20
入室のあいさつ	<p>出入口にて室内に向かい入室のあいさつを行う</p>	<p>“失礼します”と一礼し入室する</p>	<p>声を出して申告</p>	0.30
イスあげ・ごみ処理作業	<p>1. 作業前にイスを机の上にあげる</p> <p>2. ごみ箱にセットされているごみ袋ごと作業カートダスト袋へ入れる</p> <p>3. ごみ袋のスペア袋をカート中段から取り出し、ごみ箱にセットする</p> <p>4. ごみ箱を机の上にあげる</p>	<p>イスの足・タイヤが机からはみ出したりしない ごみが袋からごみが落ちないように運ぶ</p> <p>ビニール袋を正しくセットする</p> <p>ごみ箱が机幅からはみださなように正しくのせる</p>	<p>イスを机から引き出す時に机に当てたり、机を動かしたりしない</p>	2.00
除塵作業 ※乾式モップ作業 手順参照	<p>1. 乾式モップはコート（作業場所）入口の養生マットの上でセットする</p> <p>2. 乾式モップを持ち、外から出入口付近を除塵し、コートへ入る</p> <p>3. 幅木側、机の下、中央部の順に作業を行う</p> <p>4. 前進しながら、ごみを出入口に向けて一ヶ所に集める</p> <p>5. ヘッドをモップハンドルから外し、使用済ダストクロスをはずす</p> <p>6. 使用済みダストクロスは、作業カートのダスト袋へ入れ、ヘッドはカート上段の邪魔にならない場所におき、モップ柄は元の位置に戻す</p>	<p>上の手は柄の先端を親指で押えて握り、もう一方の手は順手で。</p> <p>乾式モップのヘッドは、左右の位置で正確に半回転させ、横一直線で前進移動する</p> <p>モップは叩かない、戻さない、浮かさない、ぶつけない</p> <p>押し幅が1/4程度重なるように</p> <p>ダストクロスは汚れた面を内側に折りたたむ</p> <p>ヘッドのスポンジ面を上にして置く</p>	<p>ヘッドの辺が短い方が手前</p> <p>回転はグリップ部分を軸に</p> <p>幅木コーナーはヘッドの上部の角が入るように操作する</p> <p>全て前進作業</p> <p>ごみを踏まないように</p> <p>ダストクロスの中心を軽く持ち上げさらに2つ折にする</p>	

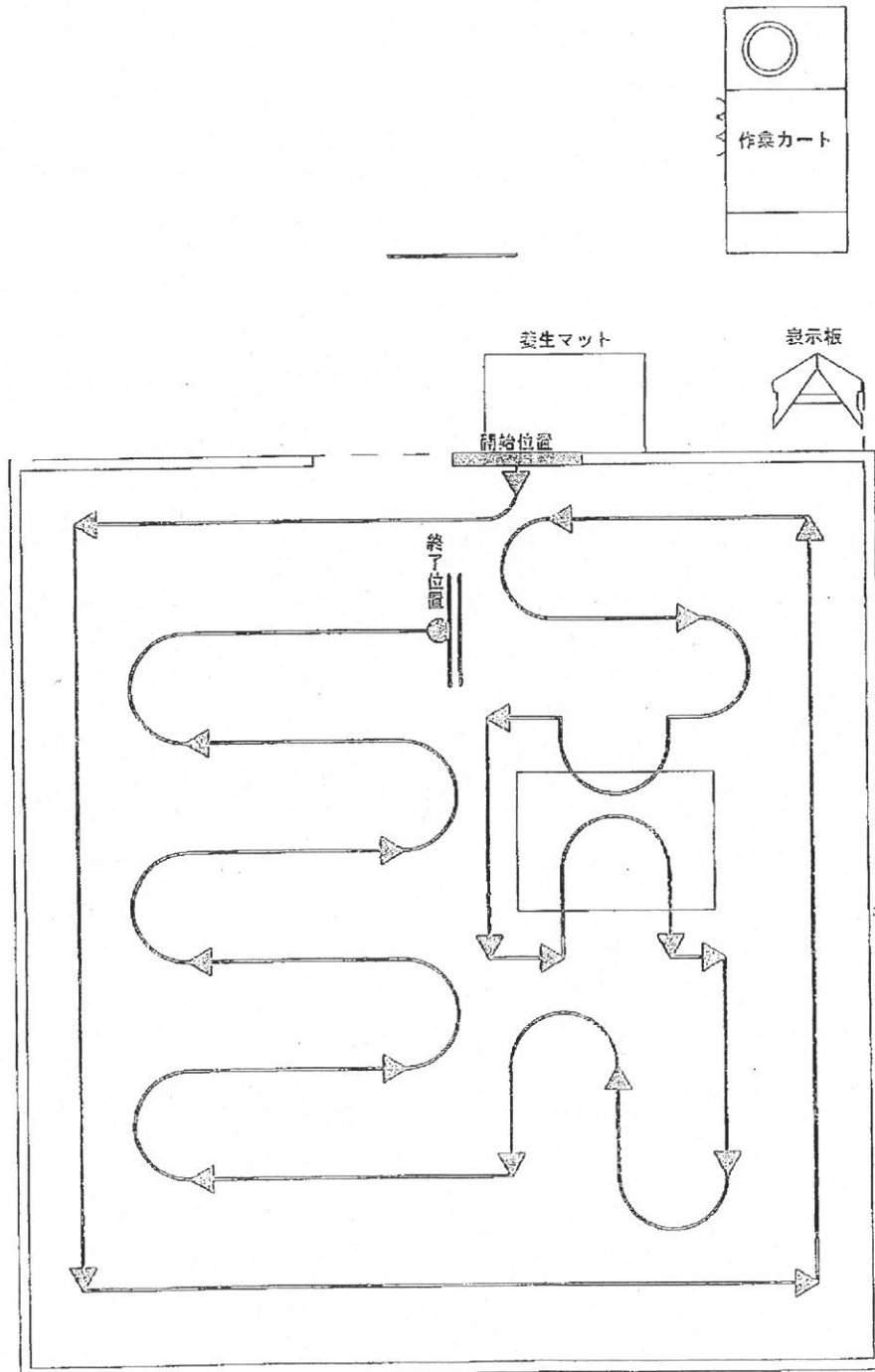
課題 1

弾性床清掃及び机上清掃

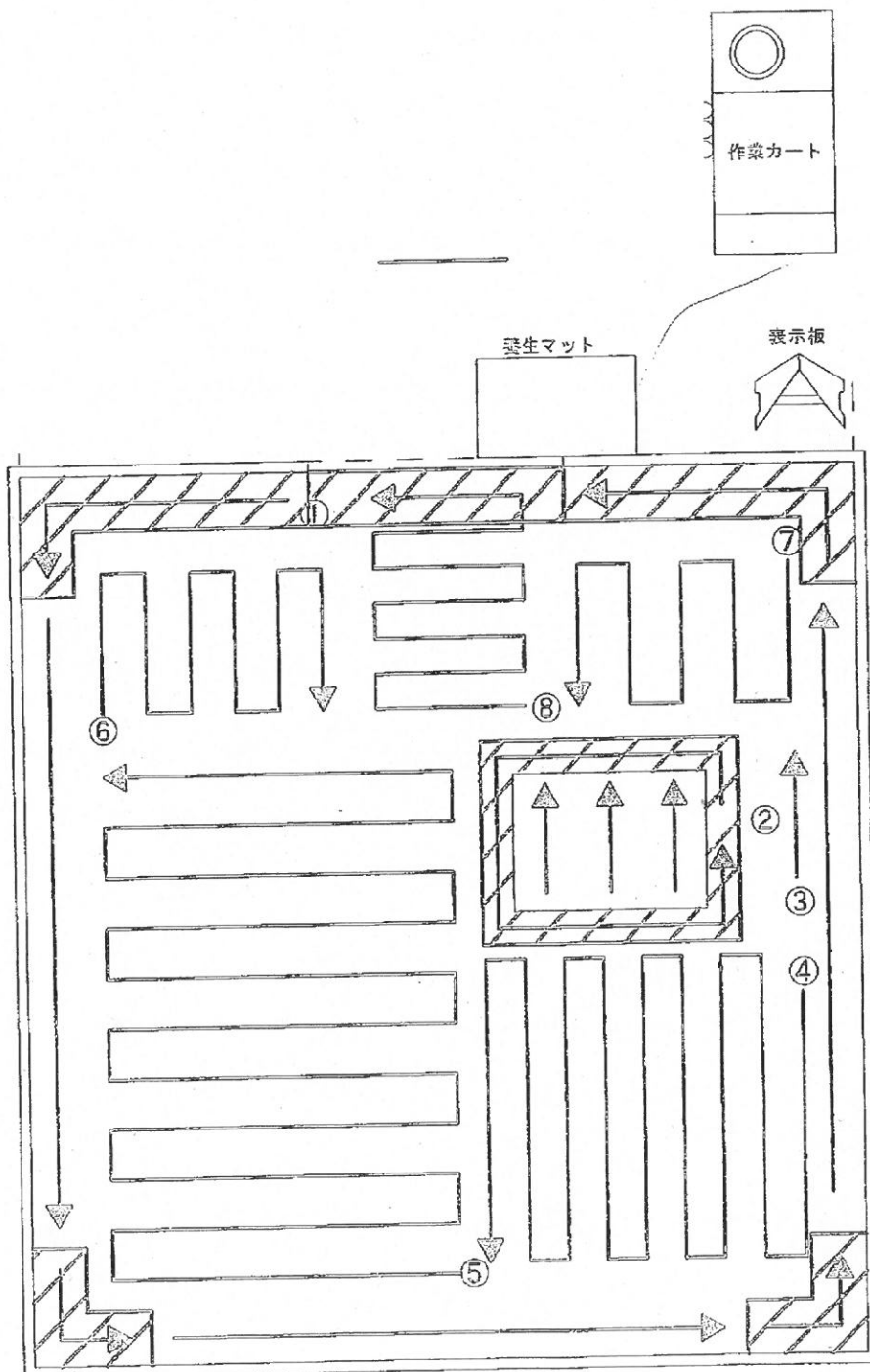
標準競技作業時間 10分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
除塵作業	7. 小ほうきとちりとりを持ち、コート（作業場所）に入る。 8. 集めたごみを出入口へと下がりながら掃き取る。 9. ごみの取り残しがないか目視点検する 10. 使用した小ほうきとちりとりをカートの元の位置に戻す	ほうきの毛先をちりとりの中へ確実に入れる ごみを取り残さない コートの四隅、机の下の確認を必ず行う	毛先の半分を使って、ちりどりの中まで毛先を入れる	4.30
水拭き作業 ※水拭きモップ作業手順参照	1. モップハンドルと水拭きモップを持ち出入口付近（養生マットの上）でセット（取付け）する 2. モップでコート（作業場）全面を拭く 3. 幅木側、机の下、中央部の順で拭く 4. コーナー、机の下、出入り口はモップの先端に手を添えて拭く 5. モップは区画ごとに方向転換し、モップ全体を使って拭く 6. モップは横拭きとし、時々裏返ししながら後退しながら拭く 7. 拭き終わったら、養生マットの上で、モップを取り外し、ハンドルもモップもカートの元の位置に戻す 8. イス・ごみ箱を机の下の元の位置へ下ろす	1回拭き 上の手は柄の先端を親指で押えて握り、もう一方の手は順手で 拭いた所は踏まない 幅木や机の脚部にふれないこと モップは1区画毎に1～2回裏返す カートの定位置へ戻す 安全に音を立てないように降ろす	モップの先端を手の平全体で包み込むように添える 1区画（150cm）の途中で必ず裏返す	6.30
机上拭き作業	1. カート上段の水拭き（青色）タオル、空拭き（白色）タオルをもち、コート内に（作業面）に入る 2. タオルを八つ折にし、机上を水拭きする 3. タオルを八つ折にし、机上を空拭きする 4. カートの元の位置へ戻す	タオルが汚れたら綺麗な面に折り返して拭く 縦拭き、横拭きを行う	タオルがばらつかないように親指で合わせ面を押えて持つ拭きむらが無い様に	8.30
点検作業	1. コート（作業場）内に入り作業点検（指差し・目視点検）を行う	資機材の忘れ、ごみの取り残しなどの点検	コート全体を確認	9.15
退室のあいさつ	1. 出入口にて室内に向かって退室の挨拶を行う	“失礼しました”等、一礼し、挨拶	作業終了しましたがでもよい	9.30
資機材のかたづけ	1. 作業表示板を作業カートの元の位置に戻し、カートを保管場所に戻す	元の場所へもどす	両手でカートを押す	9.45
競技終了挨拶	1. 所定のスタートラインに立ち、終了挨拶を行う	“作業終わりました”又は“作業終了しました”等の意思表示を行う		10.00

乾式モップ作業手順



水拭きモップ作業手順



注：▨印は手作業箇所を示す。

カーペット床清掃

標準競技作業時間 7分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
資機材の準備	作業に必要な真空掃除機は、すでに会場に準備されている 真空掃除機のホース・ノズルはセットしてある（事前にセット済）	資機材が過不足無く準備されているかを点検し、異常があれば速やかに申し出る	資機材の点検終了後審査員の指示に従い作業準備に入る	0
競技開始挨拶	所定のスタートラインに立ち、審査員の“始め”の掛け声で《“始めます”と片手を上げ作業開始》を申告する			
作業準備	1. 真空掃除機を保管場所から作業場所近くへ移動 2. コードを本体から外しプラグをコンセントに差し込む 3. 起動確認を行う	作業しやすい場所へ移動 プラグをしっかり持ち差し込む 吸込み口に手をあて 吸引確認	作業開始後は資機材は取りにもどれない	1.00
入室のあいさつ	出入口にて室内に向かい入室のあいさつを行う	“失礼します”と一礼し入室する		1.35
除塵作業	1. コート外から真空掃除機で出入口付近を除塵し、作業場所へ入る 2. 真空掃除機を作業場所に移動する 3. 入口より奥に向かって右幅木側・中央部机の下へと順に進みながらごみを吸引する 4. ノズル幅が1/3程度重なるように操作する 5. コード・真空掃除機本体が作業の邪魔にならない位置にて操作する 6. ゴミ箱を移動しゴミ箱下も徐塵する 7. 幅木側や机下にごみが残らないように操作する 8. 作業が終わったら、終了位置でスイッチをOFFにする 9. 真空掃除機を作業場所の外の安全な場所に移動し、コンセントからプラグを両手を使い抜く	持ち込みの際に幅木に当てない ごみを踏まずにスムーズな動作で行う 幅木・机脚部にノズルや本体・コードが触れないように 取り残しがないように ホースを引っ張って本体を移動させない ※本体の持ち手を持って移動する コードを踏まない、またがない コードを引っ張って抜かない	イスは一度引出して机下部は操作する 引出したイスは元の位置へ戻す	4.35
点検	10. 指さし又は目視にてコート内を点検する	ごみの取り残しがないか あれば拾う		4.40
退室のあいさつ	1. 出入口にて室内に向かい退室の挨拶を行う	“失礼しました”等、一礼し、挨拶		4.45

※バキューム作業
手順参照

課題 2

カーペット床清掃

標準競技作業時間 7分

作業工程	作業方法	チェックポイント	留意事項	作業時間
資機材のかたづけ	1. コードを巻き取り、真空掃除機本体の持ち手に差し込む 2. ノズル部を真空掃除機本体に設置する 3. 元の所定の位置（枠内）に戻す	本体を足で支えて巻き取るコードがバラバラにならないように 枠からはみ出さない		6.50
競技終了挨拶	1. 所定のスタートラインに立ち、終了挨拶を行う	“作業終わりました” 又は “作業終了しました” 等の申告を行う		7.00

ホースからノズルをはずす
 ホースを巻き、真空掃除機本体に設置

この作業工程は削除

バキューム作業手順

